

# 福祉充実のため人材確保対策を求める請願

衆議院議長 様  
参議院議長 様

紹介議員

## 請願趣旨

現在の日本の福祉が抱える困難は、利用者の生活の問題とあわせて、家族の労働と生活が壊されていることに大きな特徴があります。それを支える福祉職場の努力も限界で、そこで働く労働者は、低賃金、不安定雇用、人手不足のなかで退職や健康破壊に追い込まれ、「働きたくとも働き続けられない」「利用者の声に応えられる仕事ができない」という悩みを抱えています。この福祉の現状を抜本的に改善することが、国民が質の高い豊かな福祉サービスを利用できることにもつながります。

「福祉の人手不足」が社会問題となり、報酬単価の改善や処遇改善交付金などの対策が行われましたが、福祉労働者の賃金・労働条件の改善には程遠いのが実態です。社会福祉法第89条では「厚生大臣は、社会福祉事業が適正に行われることを確保するため、社会福祉事業に従事する者の確保及び国民の社会福祉に関する活動への参加の促進を図るための措置に関する基本的な指針を定めなければならない」と定めています。報酬単価や職員配置基準の改善など、抜本的な福祉人材確保対策の早期の実現を強く求めます。

## 請願項目

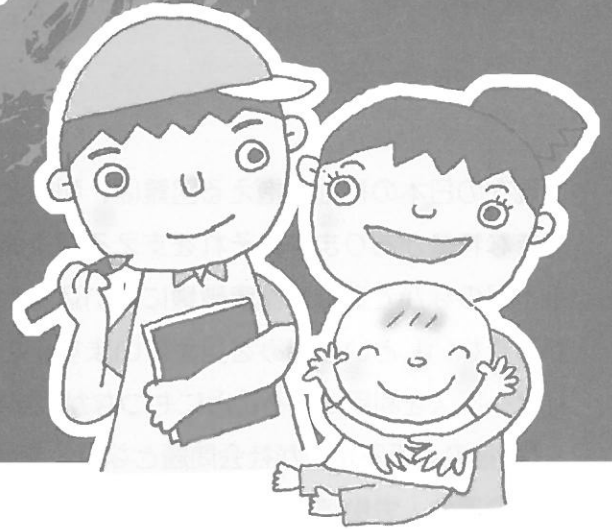
1. 国の責任で福祉予算を大幅に増やすこと。基本指針の法制化など、抜本的な福祉人材確保対策を図ること。
2. 福祉で働くすべての職員に「月額4万円以上の賃金引上げ」が実現できるよう、報酬単価の引き上げなど具体的な措置を図ること。
3. 過重・過密・長時間労働の解消のため、福祉施設の職員を大幅に増やすこと。また、福祉で働く職員はすべて正規職員とすること。
4. メンタルシック、頸肩腕症候群、腰痛などの予防と早期対応のため、産業医による相談やカウンセリングの実施への補助など、福祉で働く職員の健康対策を充実すること。

氏 名	住 所

(お名前、御住所などの個人情報は署名の提出以外には一切使用いたしません)

# よりよい福祉の実現を

国の責任で  
福祉で働く職員を増やし  
賃金・労働条件の改善を



## ゆきとどいた福祉サービスには 「福祉の人材確保」が必要です

現在の福祉制度では施設経営もままならず、「今の介護報酬では人材確保等に十分な賃金を払えない(71.6%)」「良質な人材の確保が難しい(53.6%)」「経営が苦しく、労働条件や労働環境の改善をしたくてもできない(44.2%)」と事業所も悲鳴を上げています。

安心・安全な福祉・介護・保育を保障するためにも、「抜本的な福祉人材確保対策」を早急に実現し、福祉の人手不足を解消することが必要です。

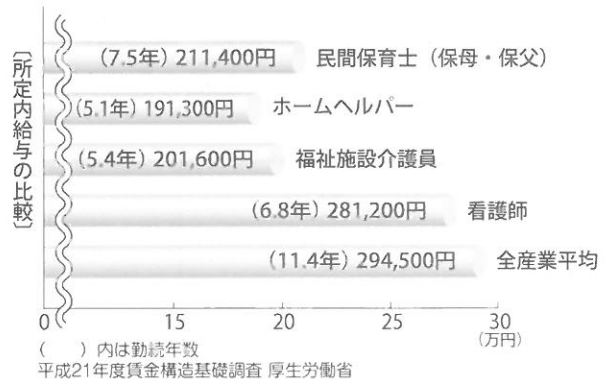


福祉の職場で働き続けたい  
だから、生活できる賃金を

人手不足の原因は  
低すぎる賃金です

平均月収で  
全労働者平均より  
10万円低い

福祉職場の平均賃金は、保育士211,400円、介護職員201,600円、ホームヘルパー191,300円と、他の専門職と比較しても低い賃金となっています。これでは、職員が働き続けることはできません。



福祉で働く職員の  
月額4万円の賃金アップ↑を

「福祉充実のため人材確保対策を求める署名」にご協力ください



福祉保育労

(全国福祉保育  
労働組合)

〒111-0051 東京都台東区蔵前4-6-8 サニープレイスビル5FA  
TEL 03-5687-2901 FAX 03-5687-2903  
Email mail@fukuho.org URL <http://www.fukuho.org/>

私たちはゆきとどいた豊かな福祉と  
いきいきと働き続けることができる  
労働条件の実現を求めています